



iPod nano 第三世代の分解

作成者: Luke Soules



はじめに

私たちはこのiPodを2007年9月7日に分解しました。

ツール:

- [#000 プラスドライバー](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)

手順 1 — iPod nano 第三世代の分解



- 前のiPod nanoと同じスタイルの箱に入っていますが、少し縦に短く、幅は広がっています。

手順 2



- 箱の中身です。
 - マニュアル (iPodよりもさらに小さい)
 - いつものよく酷評されるイヤホン
 - USBケーブル
 - dockインサート (universal 30 pin dockにつなげて使います)
 - 刷新されたiPod

手順 3



- 進化するiPod nanoファミリー
- ① 新型のnanoは古いモデルよりも短くて幅広いですがほぼ同じ面積(3.6平方センチメートル)です。

手順 4



- Appleには周期があるようです。陽極酸化アルミニウム、光沢、陽極酸化アルミニウム、光沢...
- しかしもちろん、重要なのは中身です。

手順 5



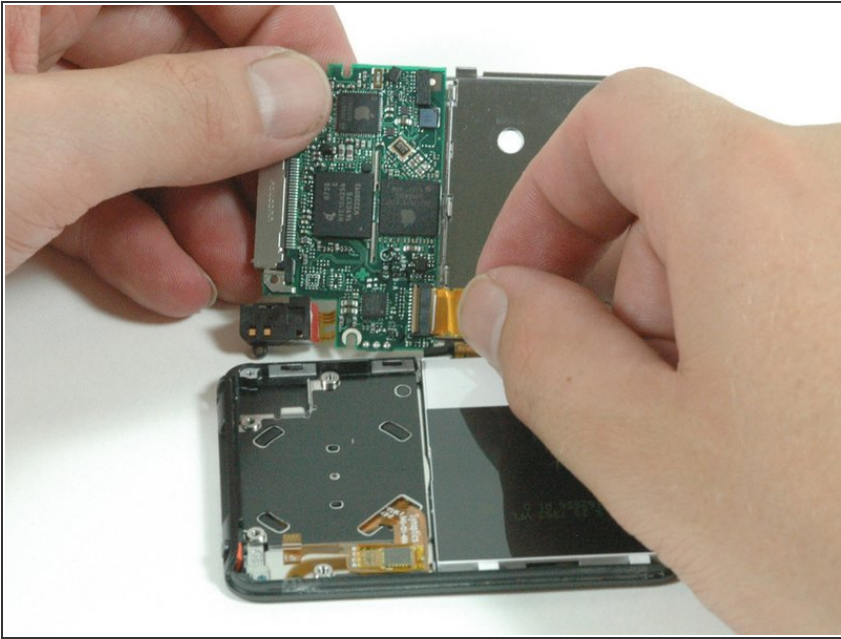
- そしてこれが最新のiPod nanoの内側です。
- ケースには8つの固定タブがあります。
 - 左側の3つ、等間隔に並んでいます。
 - 上部に3つ。
 - そして底部付近の右側に2つ。右上にディスプレイ回路用のスペースを確保します。

手順 6



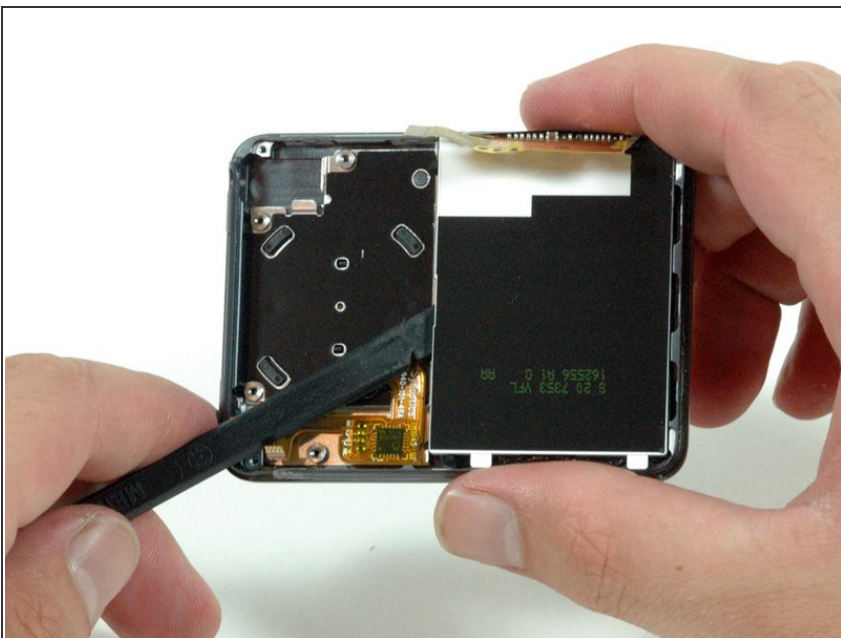
- ロジックボードをケースに固定している6本のプラスネジを取り外します。
- ここでロジックボードを持ち上げることはできますが、まだクイックホールケーブルと隠されたディスプレイケーブルにつながられています。

手順 7



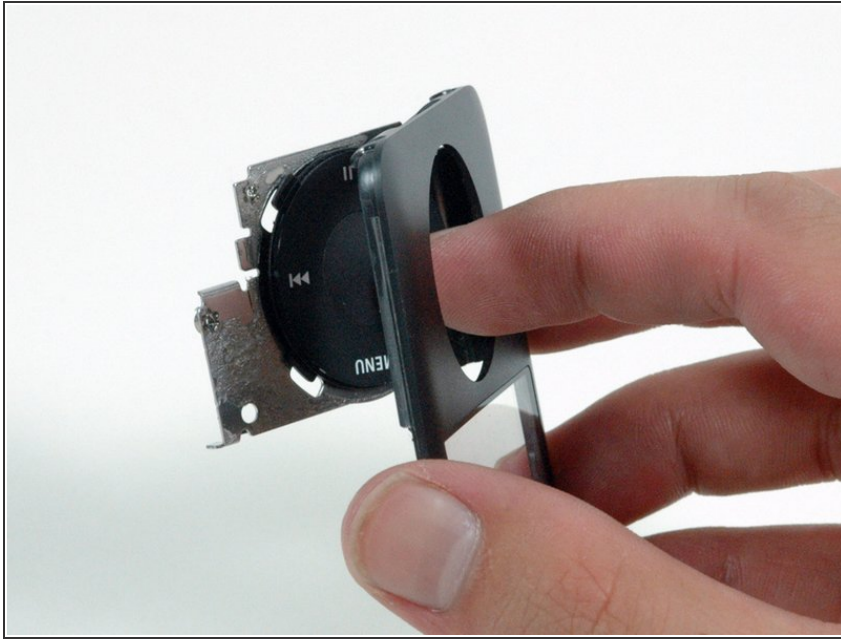
- クリックホイールケーブルの接続を外し、ディスプレイケーブルの接続も外すため、ロジックボードを裏返します。

手順 8



- 今回はディスプレイをこじ開けるためにスパッジャーを用います。ディスプレイは、接着剤でケースの端に沿って固定されています。
- ① 第1世代のNanoのディスプレイは、まさに同じ方法で取り付けられていました。それをこじ開ける時に十分注意しなければ、ディスプレイにダメージを与えてしまいます。

手順 9



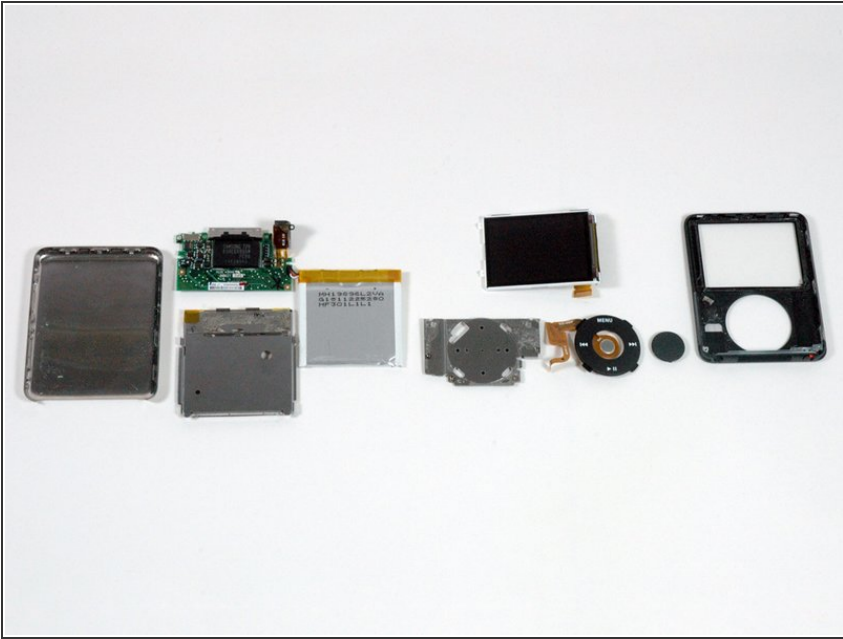
- 私たちはこのiPodを分解するにつれて、ある特徴に気づきました。接着剤です。
- クリックホイールは強力な接着剤のみで固定されているため、交換が困難です。Appleと同じように、ここで作業は行き止まりです。(つまり非常によく)

手順 10



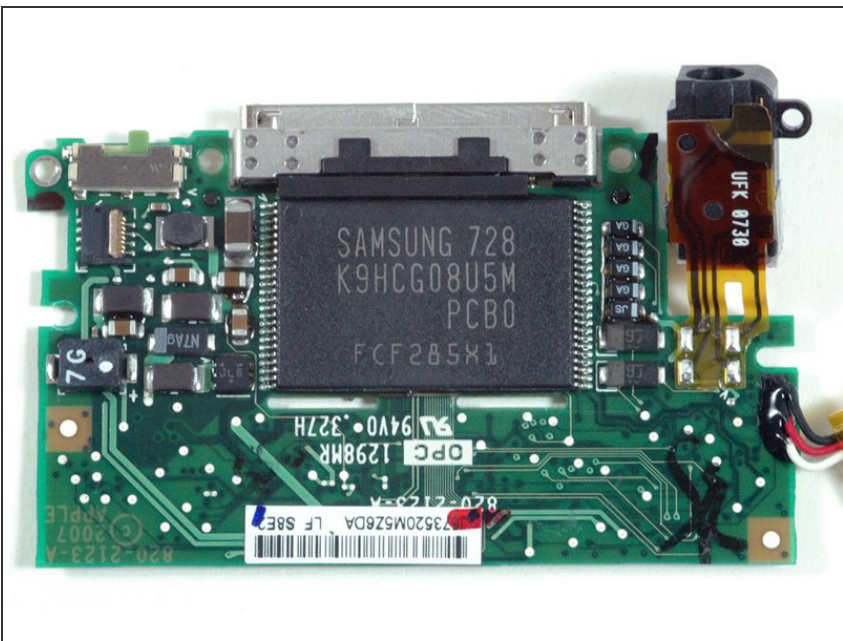
- バッテリーをその金属製ケースから取り出しました。これももちろん接着剤でロジックボードにとりつけられています。
- ① バッテリーは第2世代のNanoと同じように3箇所の半田付けでロジックボードに取り付けられています。(すみません。簡単には交換できません。)

手順 11



- これが今回分解された全てです。

手順 12



- ロジックボードの上側のクローズアップです。8GB Samsung フラッシュメモリとヘッドフォンジャックを搭載しています。
- ① 第1世代と同様に、ヘッドフォンジャックはロジックボードに半田付けされています。第2世代は半田付けされていませんでした。

